
生命の灯

かみなせ しゅら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生命の灯

【Zコード】

N5120Y

【作者名】

かみなせ しゅら

【あらすじ】

自傷、最近悲しいね。清潔にしよう。

(前書き)

これは癖だから治りないんだ

激しい赤光は熱い痛みと同時に暗^{あかし}がりの抱擁となり
暗い部屋に、ただ一つの生命の灯を顯そ^う
り 確かなものに。

その高望みが紡ぎ出した紫の糸が編み出したA u r o r aは余りにも
暁の女神は 余りにも儂く

訪れへの切望は叶わない

その微光すらも夜風に吹き消され
理由を奪われた粒子の迷霧に
僕は困惑してしまう

かつての生命の痕には
微塵の骸が残るだけ

骸は眇たり指でふれれば解け
慈愛の残た柔らかさと微かな熱はそれでも
かつての生命の存在を証す

骸は潔く

余りにも無垢なまま
解けるまま

無情の僕が解くままで

琥珀色の瓶の底へ積もつてゆく

僕を認めてくれた灯の

ただ一つの灯の

無垢な骸はただ潔く

健気な証しとして 底へ

無慈悲の底へ。

あ、ごめんなさい

(いつも笑ってしまうね)

僕は忘れた

健気な骸を既に忘れ

代わりに皮膚の隙間から生々しい赤光が新たに永久の灯とわを！

その灯は暗がりを照らさずにはますます俯いて影をつくり

僕に甘美な味わいと永久の熱をもたらす…

灯は全ての高望みを叶える代わりに

僕の全てを忘れさせる

全てを忘れさせる！

僕の全てを！

嫌
？

いいえ。忘れさせてくれるのです。無造作にちかい

(時を刻む音) .
(無造作に終い)
(f a d e o u t) . .

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5120y/>

生命の灯

2011年11月17日20時54分発行